

⑫ 公開特許公報 (A)

昭55-156740

⑤ Int. Cl.³

B 60 S 1/60

B 60 R 1/06

識別記号

庁内整理番号

7111-3D

7191-3D

④ 公開 昭和55年(1980)12月6日

発明の数 1

審査請求 有

(全 3 頁)

⑤ 自動車用洗浄装置付サイドミラー

② 特 願 昭54-64710

② 出 願 昭54(1979)5月24日

⑦ 発 明 者 永野益一

京都市右京区西院春栄町23番地

⑦ 発 明 者 永野礼子

京都市右京区西院春栄町23番地

⑦ 出 願 人 永野益一

京都市右京区西院春栄町23番地

⑦ 出 願 人 永野礼子

京都市右京区西院春栄町23番地

明 細 書

P 1

1. 発明の名称 自動車用洗浄装置付サイドミラー

2. 特許請求の範囲

1. 自動車サイドミラー1の両端付着防止用フールド2の上端部にミラー1後面洗滌を目的とした洗滌液噴出用ノズル4を有する丁字型パイプ5をミラー1上部に取付け、パイプ8をサイドミラー内部に内蔵しクイードクォンシャー用ホース15より分岐したホース16に連結した丁字型パイプ8、8はクイードクォンシャーを動作することにより噴出される洗滌液11にてミラー1面を洗滌し、水跡に著しく反射効果を阻害されたミラー面を運転台にてのクイードクォンシャー液噴出操作にてクイードガラスとサイドミラー面を同時に洗滌液にて洗浄し、ミラー本来の効果を有する自動車用洗浄装置付サイドミラー。

2. ミラー洗滌液用タンクはクイードクォンシャータンクと併用せず別個の液噴出用加圧メーター付タンクを使用することも可である特許請求範囲

P 2

第1項記載の自動車用洗浄装置付サイドミラー。

3. 丁字型パイプ8の下部8はサイドミラー本体の裏面外壁部に取付使用するも可能な特許請求範囲第1項記載の自動車用洗浄装置付サイドミラー。

3. 発明の詳細を説明

本発明は自動車運転走行に欠く事の出来ない、サイドミラーに関するものである。

サイドミラーの用途は発進、編寄せ時、後退車、追越車、特に大型車のトラック、バスにおいては車のバック時、右左折時に欠かす事が出来ないものである。ゆえに自動車にサイドミラーの取付は自動車保安基準法においても設置が義務づけられている。

晴天の日はミラーの反射は良く運転走行には何等不自由は感じられないが雨天の日は降りかゝる雨がミラー面に付着し、ミラーの反射効果は急激に低下し、視界が十分に出来なくなる。従来車のサイドミラーはこの点を考慮してミラー

P 3

上部にフードを取付け水漏れ着を防止する構造設計されてあるが、降雨は風または走行条件によつてどうしても多量の水漏れがミラー表面に付着しその効果を妨げるものである。本発明はミラーに付着せる水漏れをば草内操作により洗滌液にて洗い落し常に鮮明なミラー効果を発揮するを特長とする。

実施例を図面にもとずき説明すれば、

1. 乗用自動車等フエンダー型に取付けられていたサイドミラーに関しては、ミラー1の固定用となつてゐるフード枠2の上部部に数ヶ所にノズル4を設置した丁字型パイプ5をミラー面に密着して設置し、洗滌液噴射ノズル4はミラー1表面を洗滌するに効果的な位置に設置する。5はサイドミラー本体取付用ブラケットで底部をフエンダー9に取付けるボルト6とナット7がある。丁字型ノズル3のパイプ8はサイドミラー内の空間部及びブラケット部5内に内蔵し、ホース16を差込口10をブラケット底部より長く出しホース16の取付を容易にする。

P 5

した時、ワインドワイパーを使用するのは周知のことである。ワインドガラス表面は油膜やホコリが付着し鮮明な視野が得られないのでワインドクォンシェーを使用して汚れを洗い落し走行するがサイドミラーについてはその配達が施されてなかつたが本発明によりワインドガラスと同時にサイドミラーも洗滌され付着した汚れ水漏れも洗い流されて本来のミラー効果を発揮する。

雨中走行に際し洗滌液にて濡れたミラー面1に付着する水漏れは界面活性剤を使用することにより付着する雨は水滴とならず流れ落ちるが降雨の状況にもよるが30分から40分程走行すれば界面活性剤の効力も落ちてミラー面に水漏れの付着現象が発生する様にすれば、ワインドクォンシェー液噴射のスイッチをONにすればワインドガラスと同時にサイドミラー面にも洗滌液がノズル4より噴射洗滌され鮮明な前方視野とサイド、後方の視野を同時に得ることが出来る。交通量の多い昨今交通事故防止を目的とした降雨時の水漏れによるサイ

P 4

ドミラーであるが、タンクを別に新設するも可能であるが既設のワインドクォンシェー用のタンク12を併用すればよく、洗滌液はワインドクォンシェー用の界面活性剤混入の洗滌液が効果的である。界面活性剤の効用でミラー面に付着した汚れを落とすと同時に濡れ付着する水漏れは流れ落ちる効力がある。

配管法としては既設のワインドクォンシェーライン13の途中より丁字管14にて左右サイドミラー方向に分岐し、ホース16を新設しホース差込口10に接続することによりワインドクォンシェー液噴射と同時にフエンダーミラー洗滌液を同調させることが出来る。

2. トラクタ、バスに設置されている大型のサイドミラーもフエンダー型サイドミラー同様に丁字型ノズル4付パイプ8をサイドミラー内に内蔵、又はパイプ8をサイドミラー上部より裏面に回して固定し実施例1と同様に配管する。

使用法及び効果について述べると雨が降りた

P 6

ドミラー反射効果減退防止を特長とする自動車用洗滌装置付サイドミラー。

4. 図面の簡単な説明

図はこの発明の実施例を示し第1図はフエンダー型サイドミラーの正面図。第2図は側面図。第3図はホースの配管略図。第4図は、大型車に取付けられているサイドミラーの正面図。第5図は同側面図である。

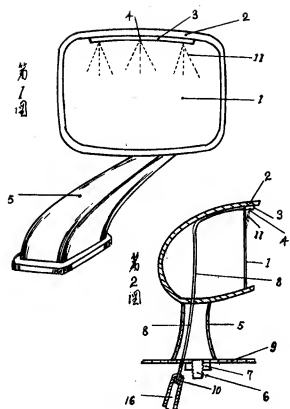
- | | |
|-----------------|-----------|
| (1)……ミラー | (2)……フード枠 |
| (3)……丁字型ノズル付パイプ | (4)……ノズル |
| (5)……丁字型パイプ | (16)……ホース |

特許発給出願人

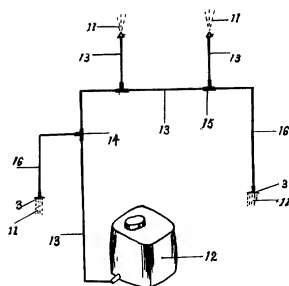
水 野 英 一

特許発給出願人

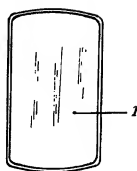
水 野 礼 子



第3圖



第4圖



第5圖

